

坂祝町財政状況

平成22年度下半期補正予算

平成23年度当初予算

平成23年 6月 1日

坂 祝 町

2. 老人保健特別会計

歳入の状況

歳出の状況

歳入については国庫支出金、歳出では繰出金がそれぞれの大部分を占めており、執行率についても100%に近い数値になっております。これは制度廃止後の各種の精算がほぼ終了したことによるもので、平成22年度の確定精算をもって、この特別会計は廃止となります。

3. 農業集落排水事業特別会計

歳入の状況

歳出の状況

農業集落排水事業特別会計は、現在維持管理型の会計となっています。平成 22 年度の予算については、当初予算に対し、2,859 千円の増額補正を行いました。歳入の主な内訳として加入分担 1,720 千円の増額補正、工事分担金 393 千円の増額補正、繰越金 771 千円の増額補正、一般会計からの繰入金 68 千円の減額補正、使用料 43 千円の増額補正です。歳出の主な内訳として、維持管理費（工事費）3,951 千円の増額補正、需用費 718 千円の減額補正、委託料 662 千円の減額補正、人件費 254 千円の増額補正、公課費 34 千円の増額補正です。

農業集落排水事業の建設に要した借入金の償還金につきましては、平成 18 年度で終了していません。今後も安定した維持管理に努めていきます。

4. 公共下水道事業特別会計

歳入の状況

歳出の状況

公共下水道事業の進捗については可茂管内でも高く、全町下水道化に努めているところです。現在の供用開始人口は6,002人(5,561人)であり、全人口に対する割合は70.2%(70.9%)、農業集落排水と合わせると90.4%(92.3%)です。

※上記()内は住民基本台帳人口(日本人のみ)での算定数値です。

平成22年度の予算については、全体的に4,587千円の減額補正を行いました。

主な補正予算として、歳出においては公共下水道事業費の工事請負費(5,454千円)、負担金補助交付金(5,602千円)の増額補正をしていますが、委託費において(14,805千円)の減額補正をしています。

一方歳入については、新規加入者(酒倉及び取組地区分譲地等)の増加に伴って受益者負担金(2,620千円)及び使用料及び手数料(1,867千円)、繰越金(3,129千円)、諸収入(1,872千円)の増額をしていますが、国庫支出金(4,500千円)、一般会計繰入金(9,828千円)の減額補正となっています。

委託費については、昨年、大針農業集落排水地区接続工事をしたその周辺地区の実施設計、工事費においては町単独事業として酒倉、大針地区の管渠工事を実施しました。

6. 後期高齢者医療特別会計

歳入の状況

歳出の状況

保健事業費については当初の計画に比べて健康診査事業において、受診者が少なかったために、執行率が低くなっています。今後は、健診受診率の向上を図り事業を推進していくことが課題として上げられます。

また、広域連合納付金の大半は保険料の納付金であり、歳入の後期高齢者医療保険料と同程度の執行率となっています。

後期高齢者医療制度は制度開始から3年が経過しました。今後も、平成22年度の決算を踏まえ、より円滑に事業の執行ができるよう、各項目の予算配当に努めていきます。

